

公立沖縄北部医療センターに関する アンケート調査

令和6年3月28日協議会

公立沖縄北部医療センター整備協議会事務局

➤ 調査概要

- 令和3年度から、公立沖縄北部医療センターにおける人材確保を目的とした調査を実施してきた。
- 令和5年度調査は、令和4年度調査において給与以外の転籍に係る条件などをより詳細に調査する必要があるとの分析結果があったこと、また、給与水準の詳細については、財団法人部会等で引き続き調整中であること等を踏まえ、給与以外の労働条件や勤務環境等、医療従事者が働く際に重視する項目を調査するためのアンケートを実施した。
- アンケートの実施に際しては、公立沖縄北部医療センターの整備状況や整備スケジュールについて丁寧に周知を図る観点から出向き説明会を次のとおり実施した。
 - ・ 令和5年11月6日、7日、8日 県立北部病院
 - ・ 11月6日、8日、10日 北部地区医師会
 - ・ 12月26日 県立精和病院
 - ・ 令和6年1月9日 県立八重山病院
 - ・ 1月10日 県立宮古病院、県立中部病院
 - ・ 1月11日 県立南部医療センター・こども医療センター
- なお、令和4年度調査に対し「多忙な医療従事者が回答しやすい手法にする必要があるのではないか」等の意見があったことを踏まえ、スマートフォンで答えられるようWeb形式とした。

➤ 調査方法

- 期 間:令和5年12月19日～令和6年2月19日
- 手 法:Webアンケート
- 対 象:県立北部病院、県立中部病院、県立南部医療センター・こども医療センター、県立宮古病院、県立八重山病院、県立精和病院、北部地区医師会病院等
- 調査項目:①勤務場所 ②採用区分 ③職種 ④性別 ⑤職種の経験年数、
⑥勤務場所の経験年数 ⑦転籍回数 ⑧専門医制度上の位置づけ
⑨現住所 ⑩資格
⑪働く際に重視すること、
⑫医療センターへの勤務意向 ⑬医療センターへの派遣意向
⑭勤務・派遣を希望しない理由
⑮医療センターの情報をどこで得ているのか
⑯その他(要望・意見等)

➤ 回答状況

○ 回答件数 : 合計980件(正職員896件 非常勤84件)

○ 回答率 : 19.3% (前年度25.8%)

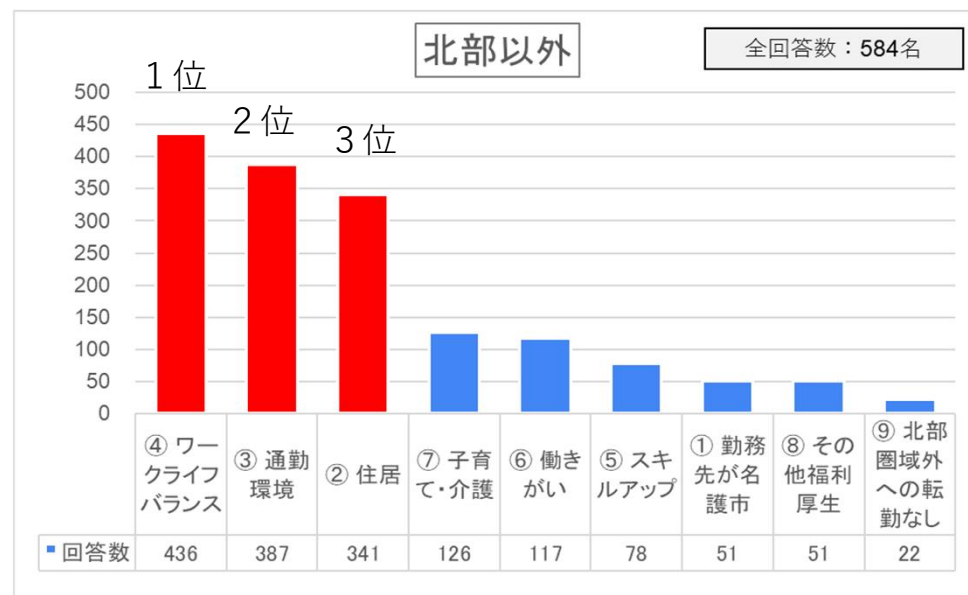
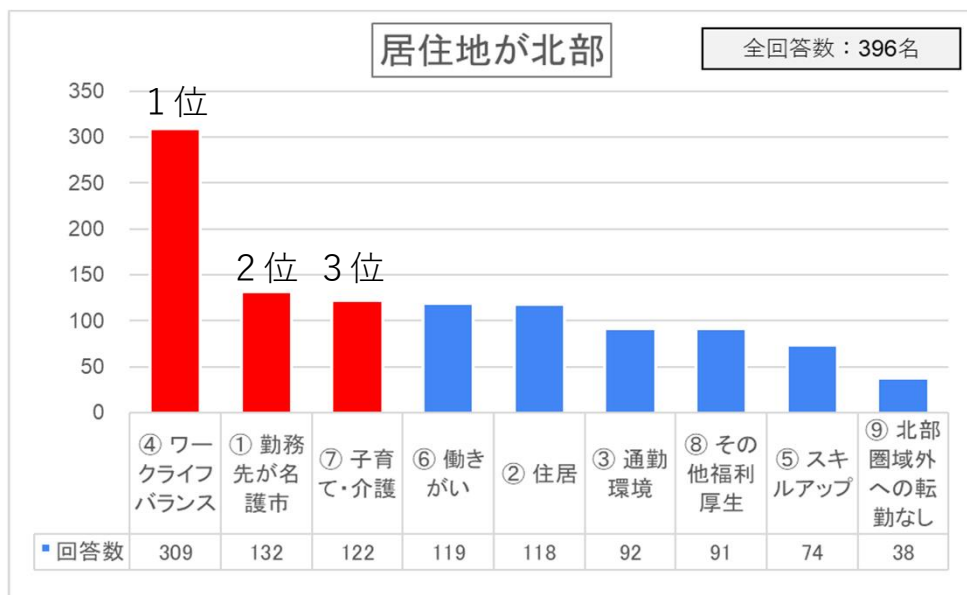
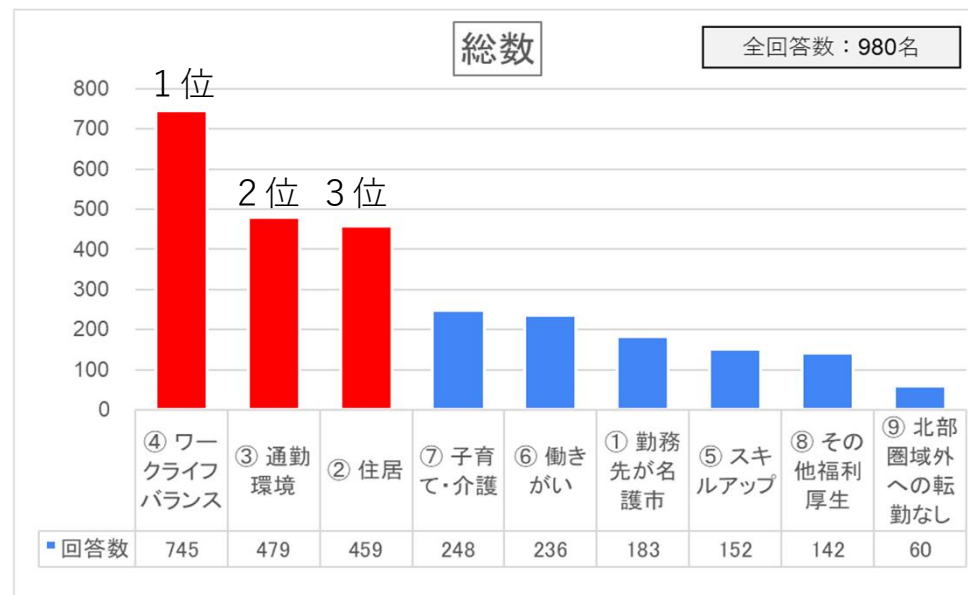
(参考)

	正職員			非常勤			総計			
	調査対象 職員数 (A)	回答数 (B)	回答率 (B)／(A)	調査対象 職員数 (A)	回答数 (B)	回答率 (B)／(A)	調査対象 職員数 (A)	回答数 (B)	回答率 (B)／(A)	
県立病院	3,424	628	18.3%	1,001	71	7.1%	4,425	699	15.8%	
内訳	北部病院	456	156	34.2%	137	26	19.0%	593	182	30.7%
	中部病院	1058	197	18.6%	210	26	12.4%	1268	223	17.6%
	南部医療センター	1004	180	17.9%	309	10	3.2%	1313	190	14.5%
	宮古病院	378	37	9.8%	143	2	1.4%	521	39	7.5%
	八重山病院	373	34	9.1%	138	0	0.0%	511	34	6.7%
	精和病院	155	24	15.5%	64	7	10.9%	219	31	14.2%
北部地区医師会病院	624	268	42.9%	37	13	35.1%	661	281	42.5%	
総計	4,048	896	22.1%	1,038	84	8.1%	5,086	980	19.3%	

令和4年度回答率		
調査対象 職員数 (A)	回答数 (B)	回答率 (B)／(A)
4,464	1,006	22.5%
601	308	51.2%
1340	200	14.9%
1303	301	23.1%
499	96	19.2%
507	64	12.6%
214	37	17.3%
707	327	46.3%
5,171	1,333	25.8%

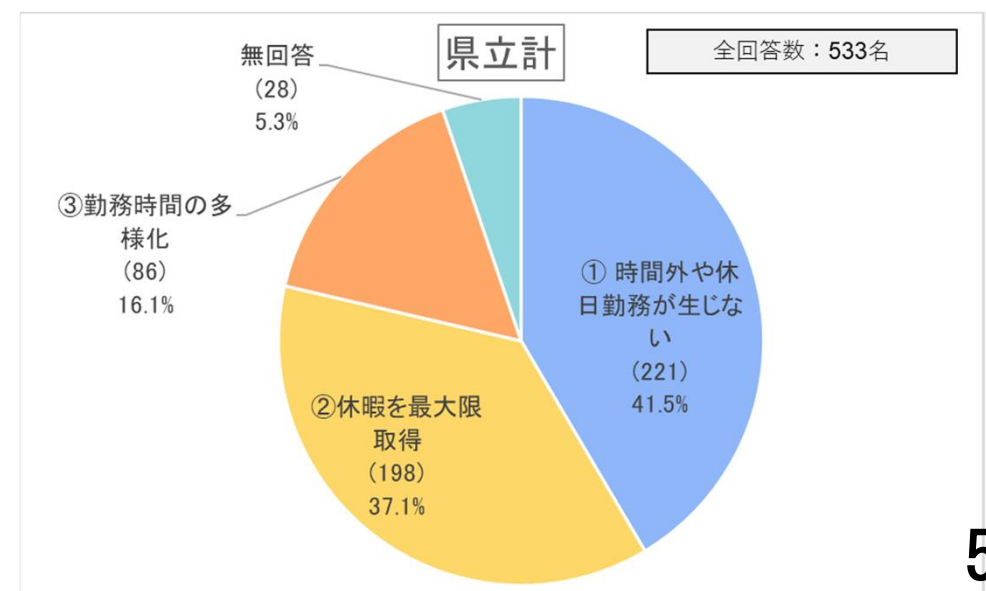
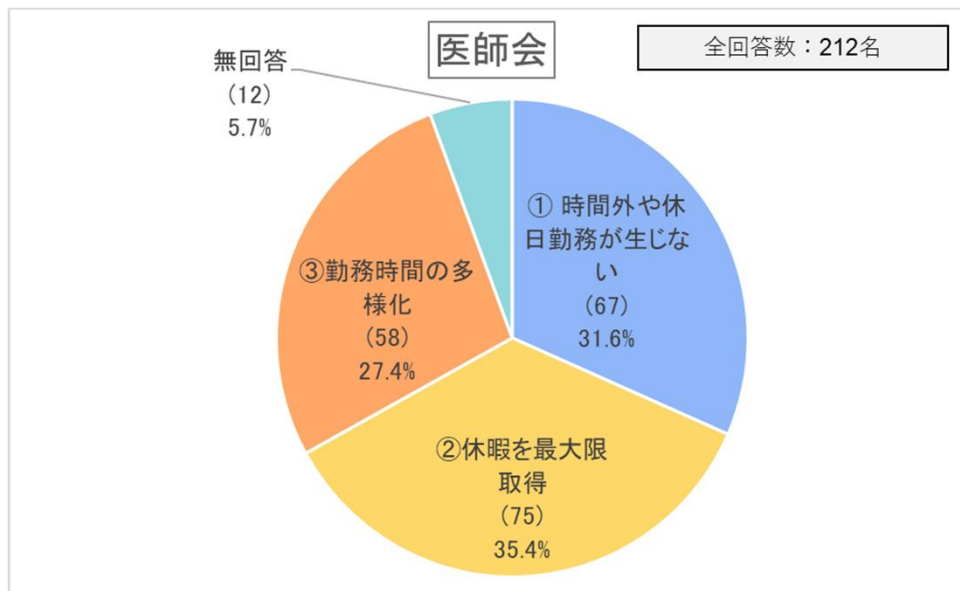
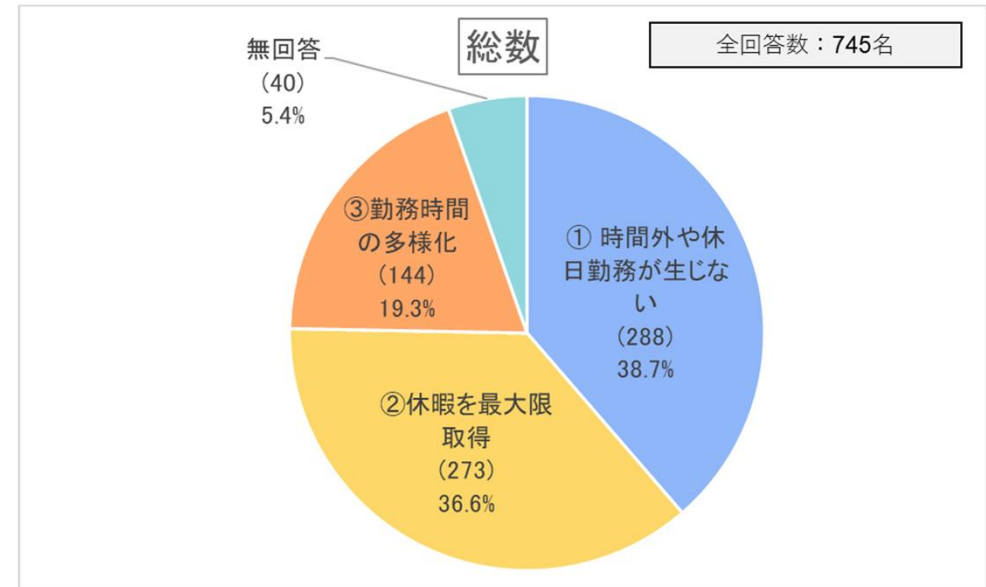
働く際に重視すること

- 働く際に重視することとして9つの選択肢から複数回答（最大3つまで）
- 980名のうち745名が働く際に重視することとして「ワークライフバランス」を選択し、最多であった。
- 2番目に「通勤環境」、3番目に「住居（住居手当、職員住宅確保）」を重視する医療従事者が多い。
- 回答者の住んでいる地域別で見ると、北部以外は「通勤環境と住居」を重視する傾向にある。北部地域は「勤務先が名護市にある」ことや「子育て・介護」を重視する傾向にある。



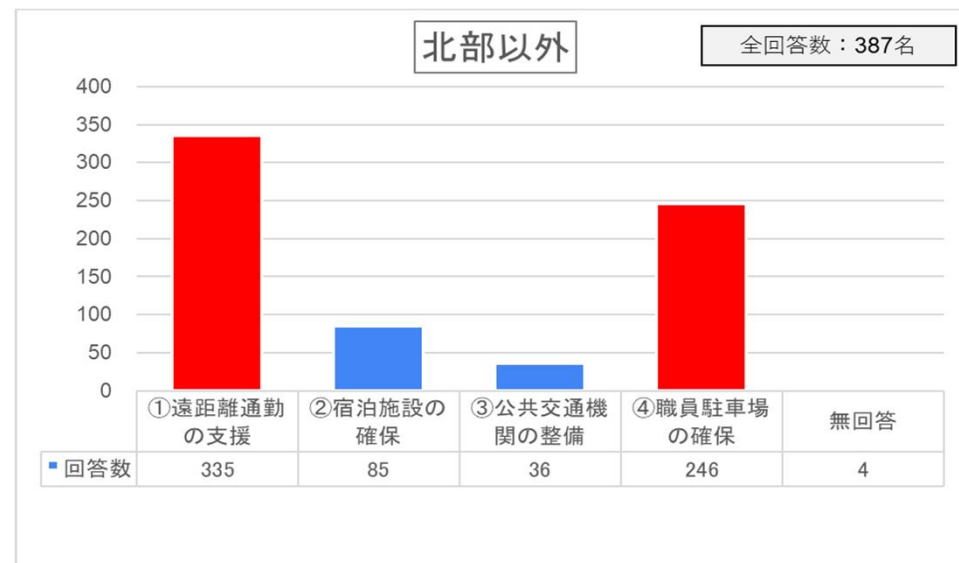
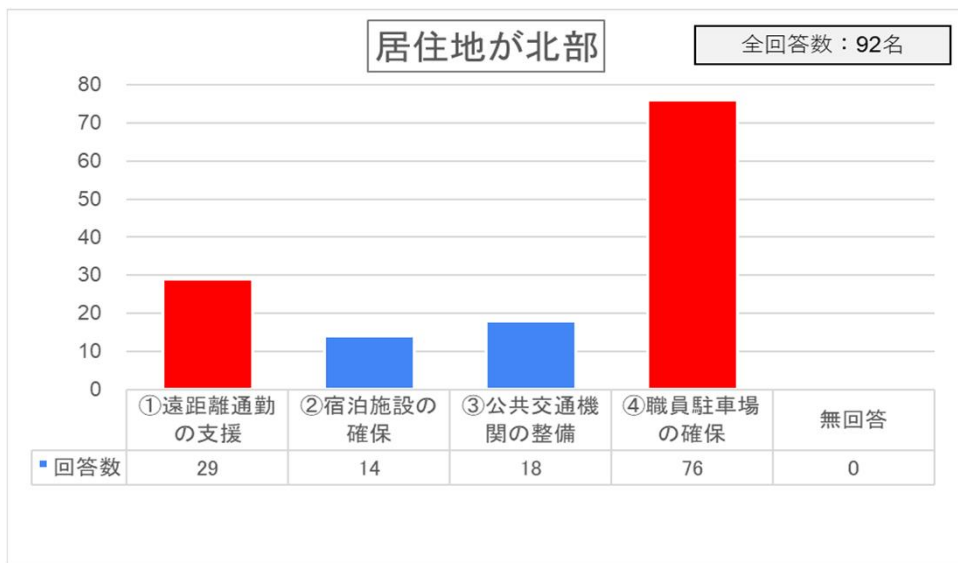
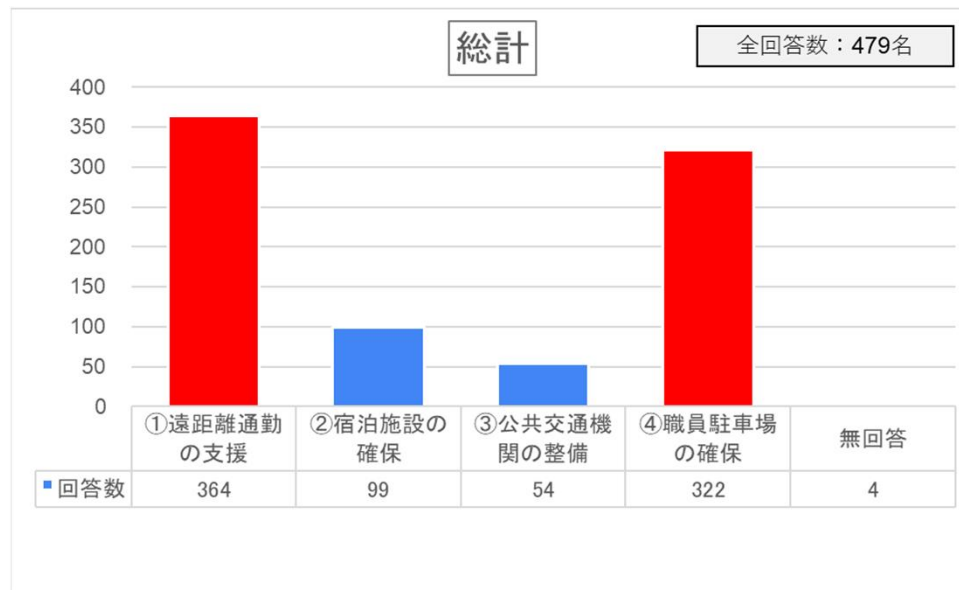
➤ ワークライフバランス(重視すること1位)

- 選択肢3つのうち1つ回答
- ワークライフバランスとして重視することは「時間外や休日勤務が生じない」と「休暇を最大限取得」が拮抗している。
- 内訳では、北部地区医師会病院と県立病院とで構成の違いが見られた。



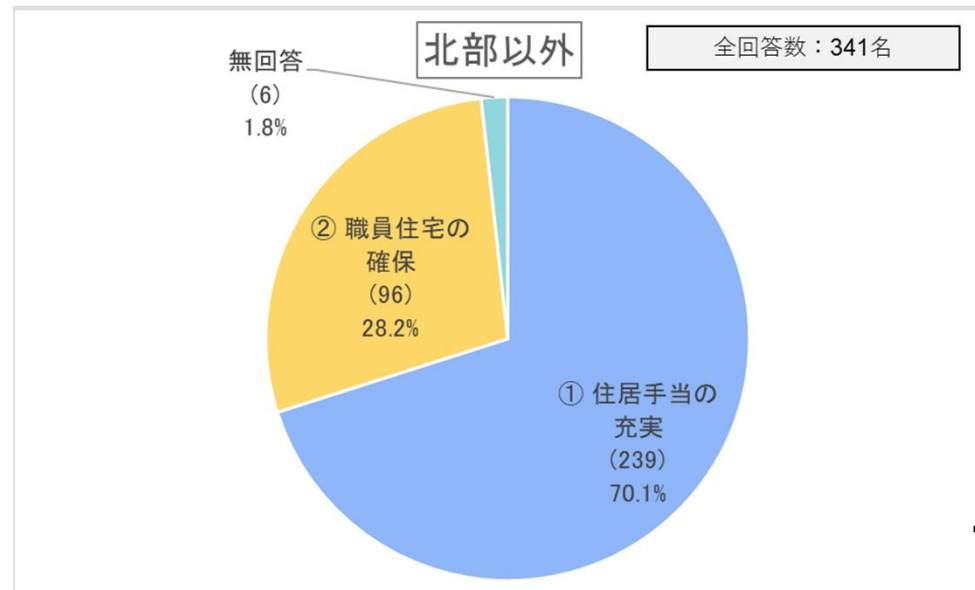
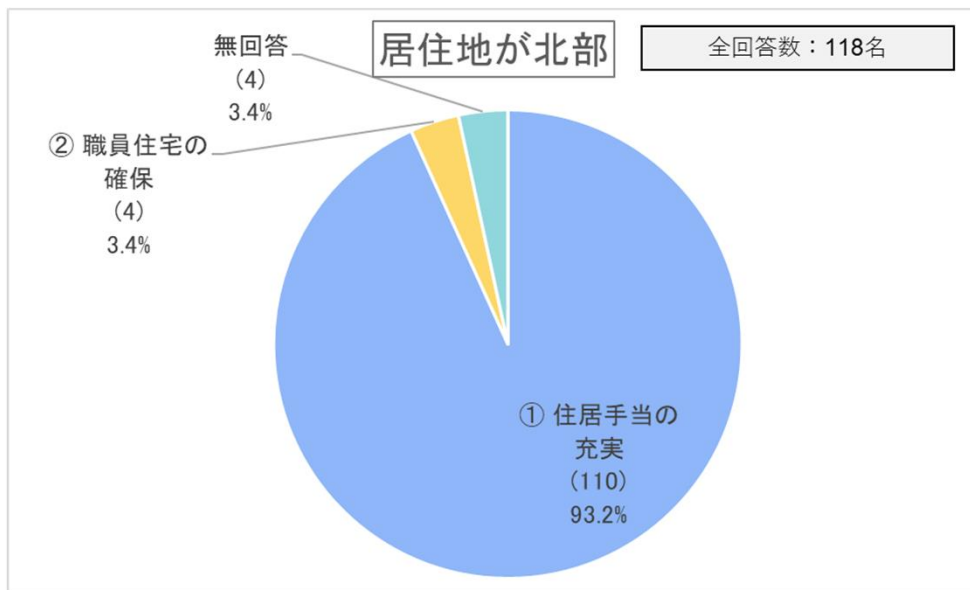
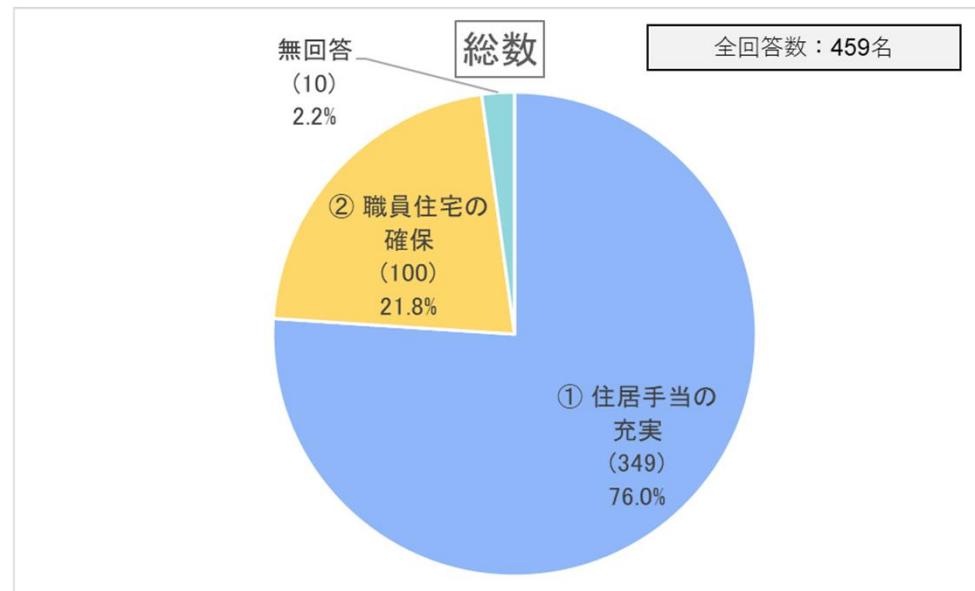
➤ 通勤環境(重視すること2位)

- 選択肢4つのうち複数回答（最大2つまで）
- 980名のうち479名が働く際に重視することとして「通勤環境」を選択し、2番目に多かった。
- 通勤環境の中で最も重視しているのは「遠距離通勤の支援」であった。
- 回答者の住んでいる地域別で見ると、北部以外は「通勤の支援」を重視している一方で、北部地域は「駐車場の確保」を重視してる。
- ただし、どちらの地域でも「遠距離通勤の支援」と「駐車場の確保」に集中している。



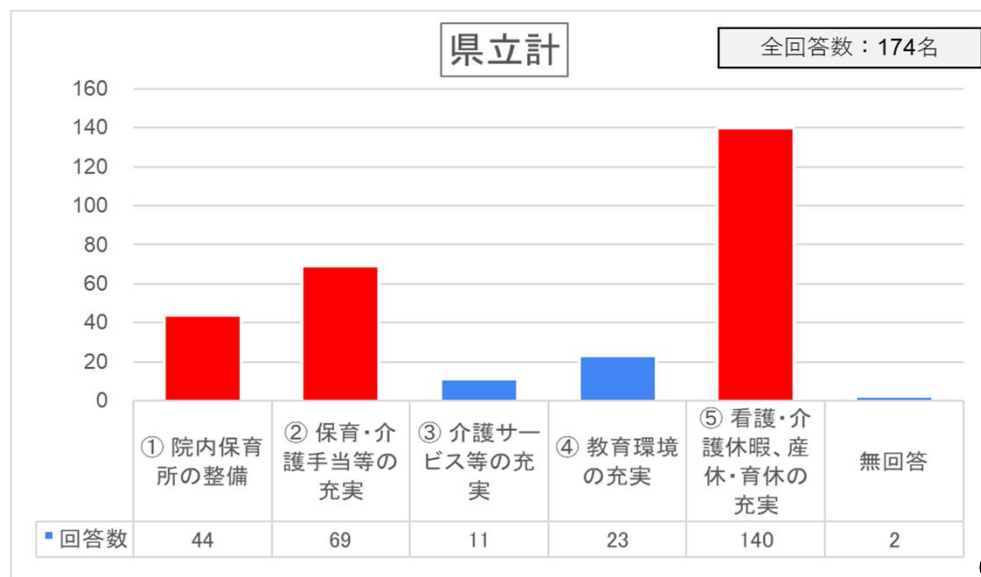
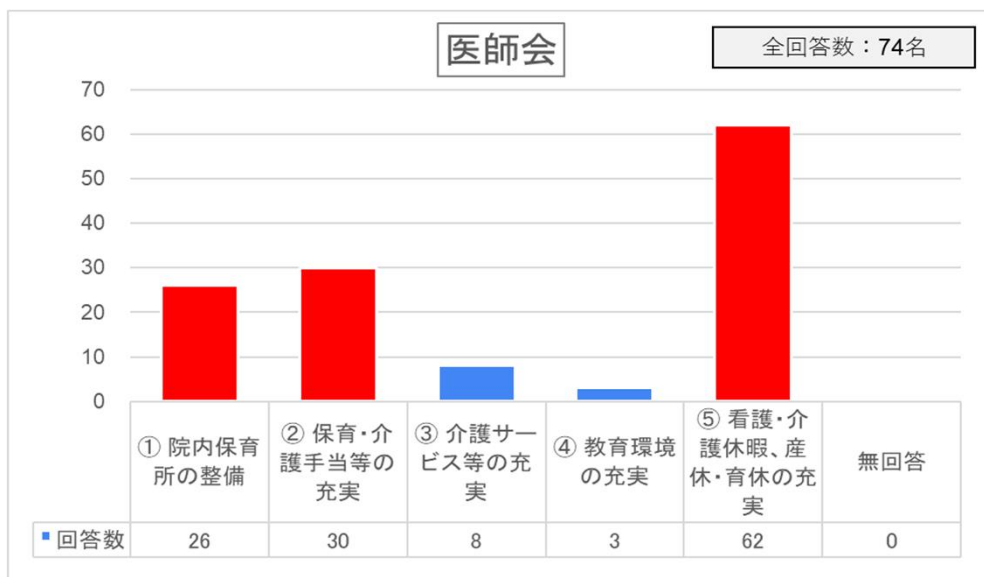
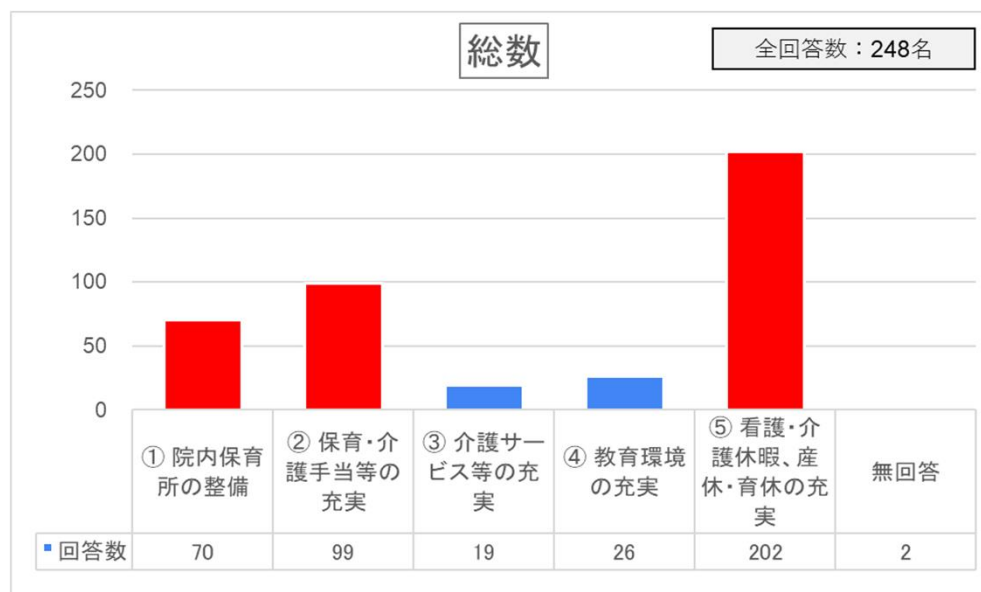
➤ 住居(重視すること3位)

- 選択肢2つのうち1つ回答
- 980名のうち459名が働く際に重視することとして「住居」を選択し、3番目に多かった。
- 住居の中で最も重視しているのは、「住居手当の充実」であった。
- 回答者の住んでいる地域別で見ると、北部以外と比べて北部地域では「職員住宅の確保」を選択する医療従事者は少なかった。一方で、北部地域外において「職員住宅の確保」を重視する方が3割近くいた。



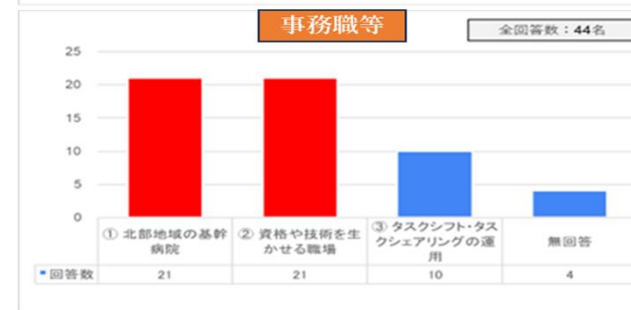
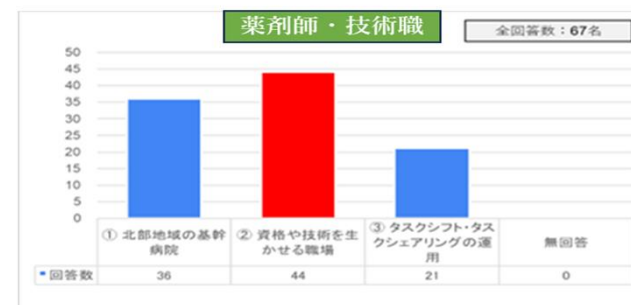
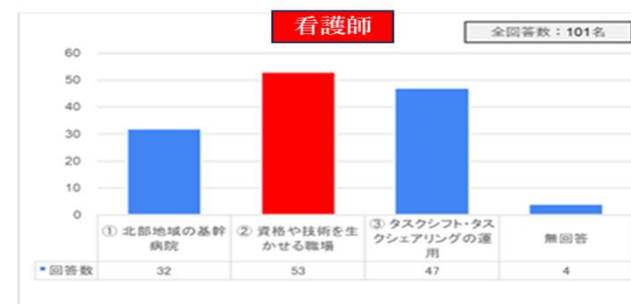
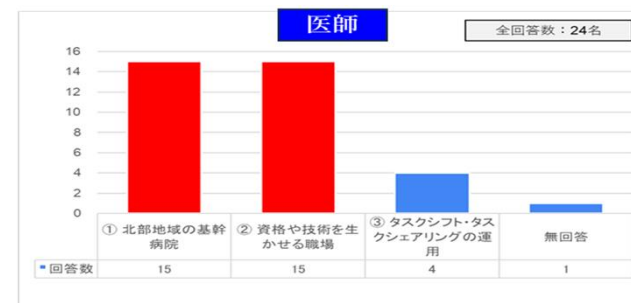
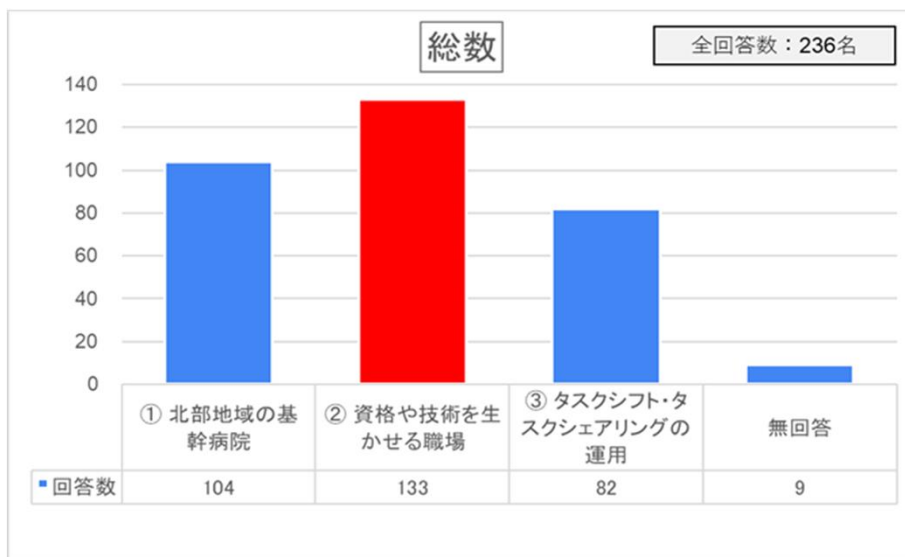
➤ 子育て・介護

- 選択肢5つのうち複数回答（最大2つまで）
- 980名のうち248名が働く際に重視することとして子育て・介護を選択し、4番目に多かった。
- 子育て・介護について、最も多かったのは「看護・介護休暇、産休・育休の充実」であった。
- 2番目に多かったのは「保育・介護手当等の充実」、3番目は「院内保育所の整備」である。
- 県立病院と医師会病院で傾向は似ているが、「地域で介護サービス等が充実」しているか「教育環境が充実」しているかで違いが見られた。



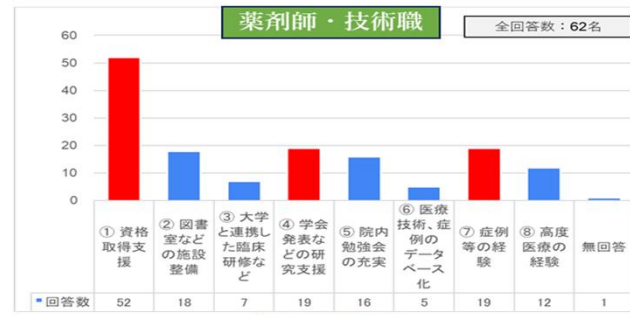
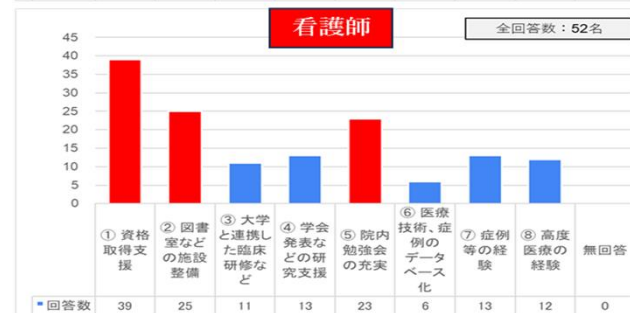
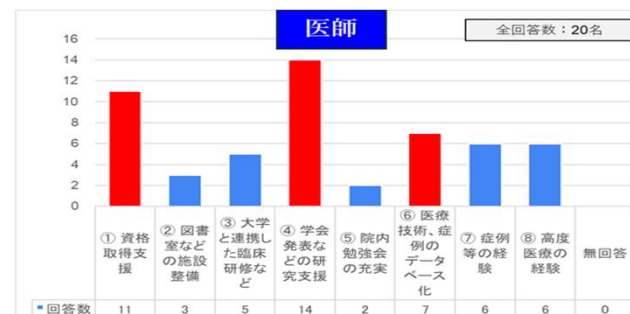
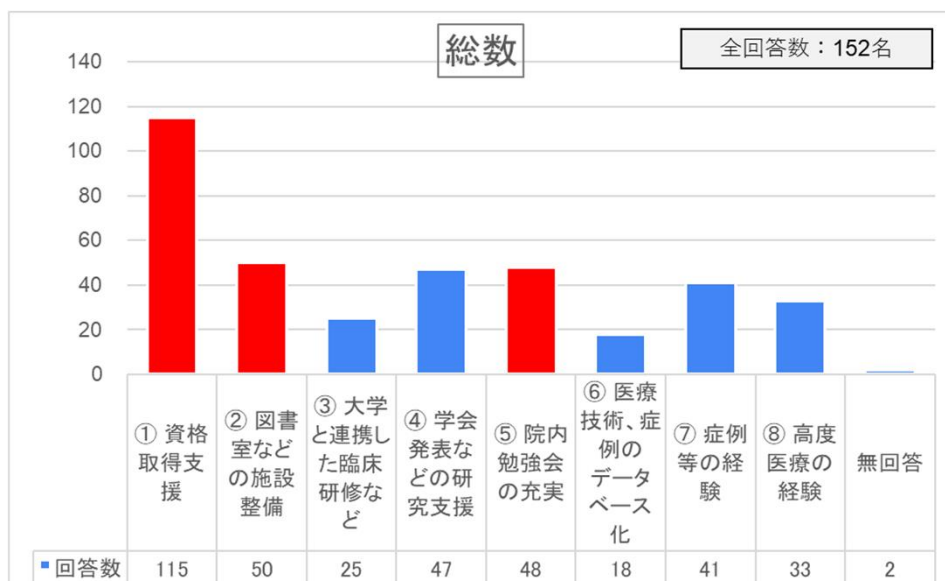
働きがい

- 選択肢3つのうち複数回答（最大2つまで）
 - 980名のうち236名が働く際に重視することとして働きがいを選択、5番目に多かった。
 - 働きがいで重視することとして最も多かったのは、「資格や技術を生かせる職場」であった。
 - 2番目に多かったのは「北部地域の基幹病院」である。
 - 職種別で見た場合、看護師においては「タスクシフト・タスクシェアリングの運用」も重視していることがわかった。
- ※ タスクシフト・タスクシェアリング…医療従事者の合意形成のもとでの業務の移管や共同化



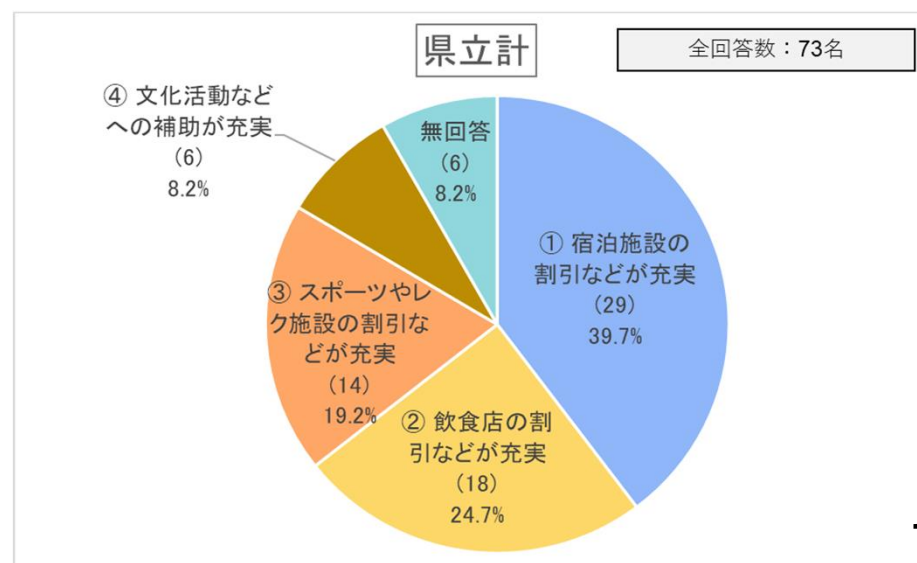
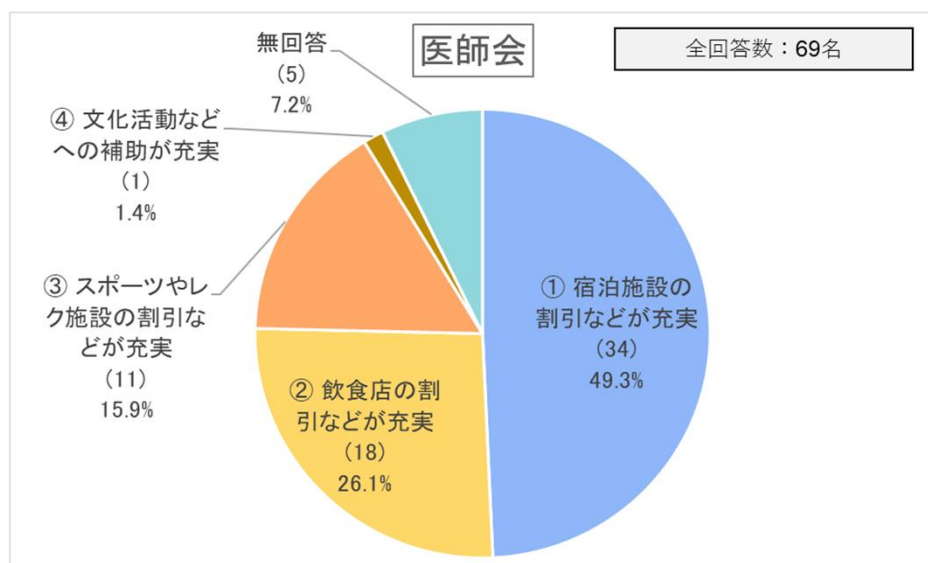
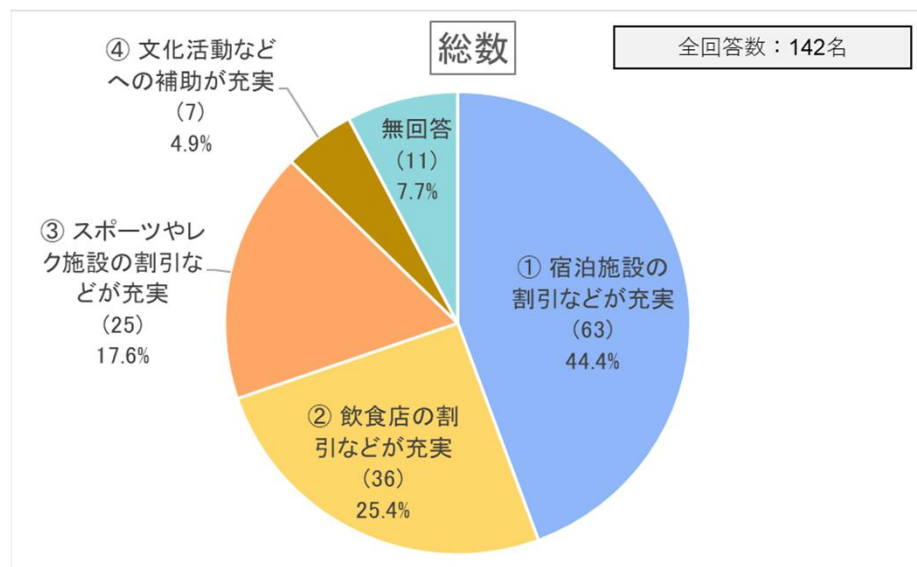
➤ スキルアップ

- 選択肢 8 つのうち複数回答（最大 3 つまで）
- 980名のうち152名が働く際に重視することとして「スキルアップ」を選択し、7番目に多かった。
- スキルアップに関して、重視することとして最も多かったのは、「資格取得支援」であった。
- 2番目に「図書室、研修室などの施設が整備されている」、3番目に「院内勉強会の充実」を挙げている方が多い。
- 職種別で医師は「学会発表などの研究支援」や「症例のデータベース化」を選択する方も多い。



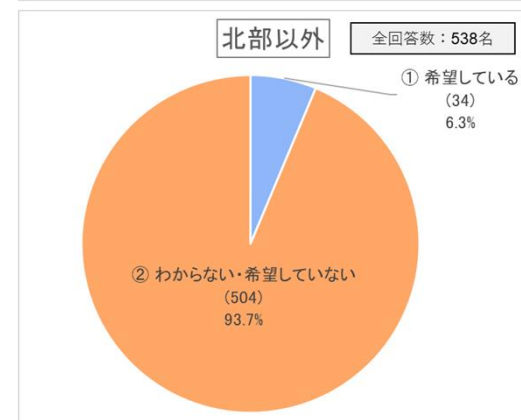
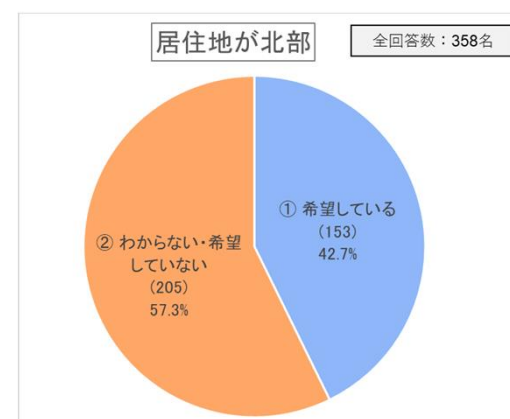
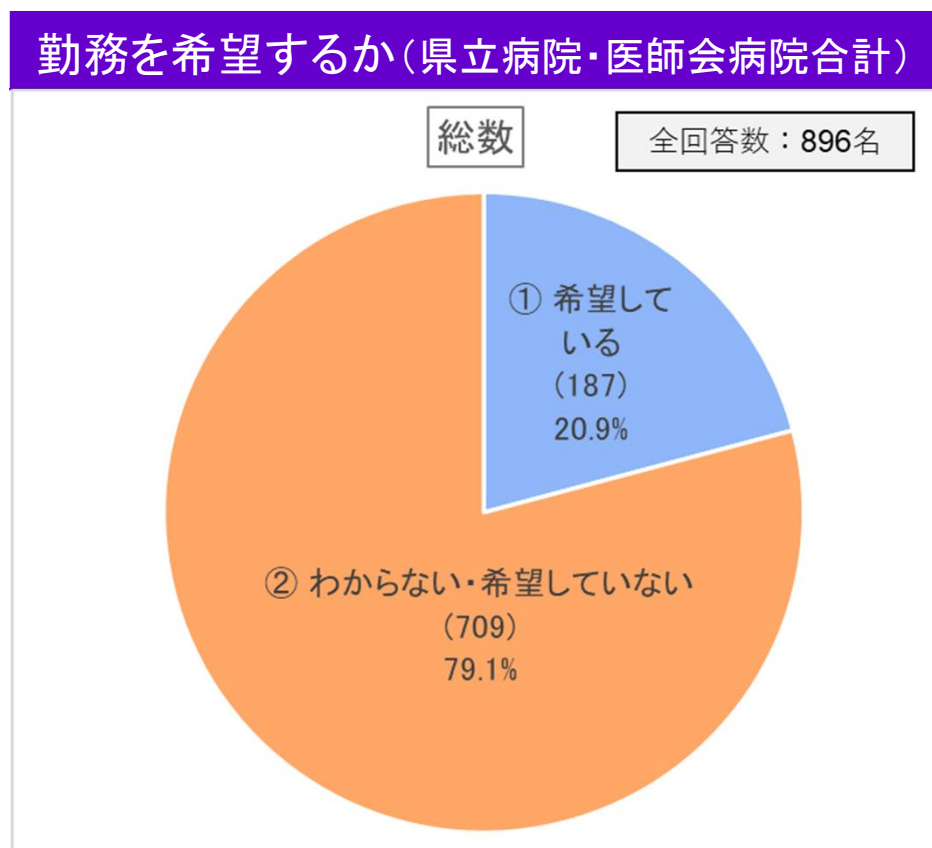
➤ その他福利厚生

- 選択肢4つのうち1つ回答
- 980名のうち142名が働く際に重視することとして「スキルアップ」を選択し、8番目に多かった。
- その他福利厚生について、最も多かったのは「宿泊施設の割引などが充実」であった。
- 2番目に多かったのは「飲食店の割引などが充実」、3番目に「スポーツやレクリエーション施設の割引などが充実」である。
- 県立病院と医師会病院で傾向は似ているが、県立病院では文化活動などへの補助が充実を選択している方も一定数いる。



➤ 北部医療センターへの勤務

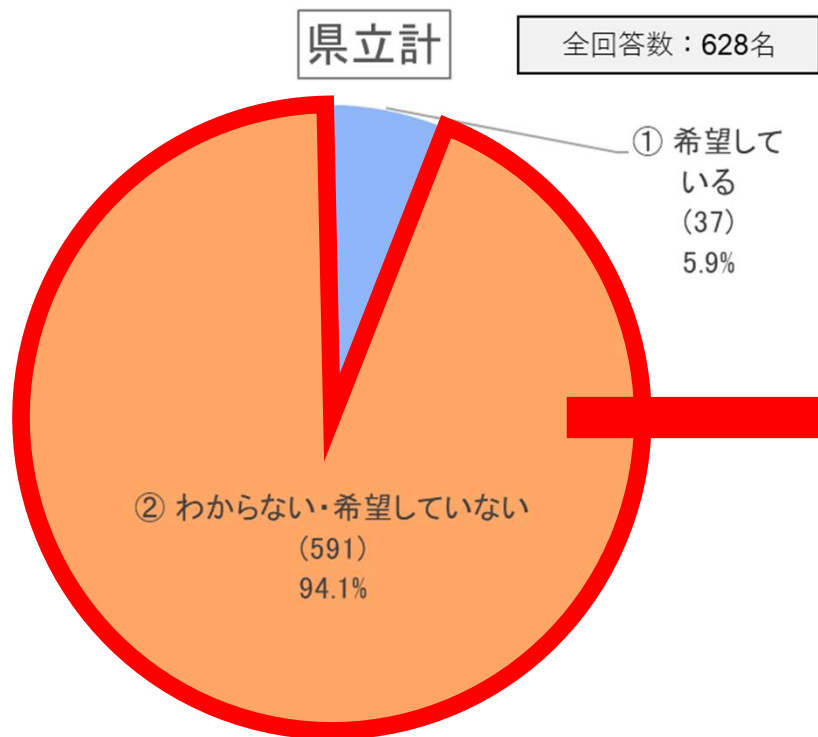
- 給与等の詳細条件が調整中であっても北部医療センターへの勤務を希望しているを選択した方は医師会病院と全ての県立病院を合わせて187名であった。
- 約79%の方が北部医療センターへの勤務をわからない・希望していないと回答している。
- 全回答数896名（正職員のみ）のうち北部地域に住んでいる358名においては、153名の方が北部医療センターへの勤務を希望している。一方で、205名がわからない・希望していないと回答している。
- 北部地域外の538名のうち約9割にあたる504名がわからない・希望していないと回答している。希望していると回答した方は34名、約6%にとどまった。



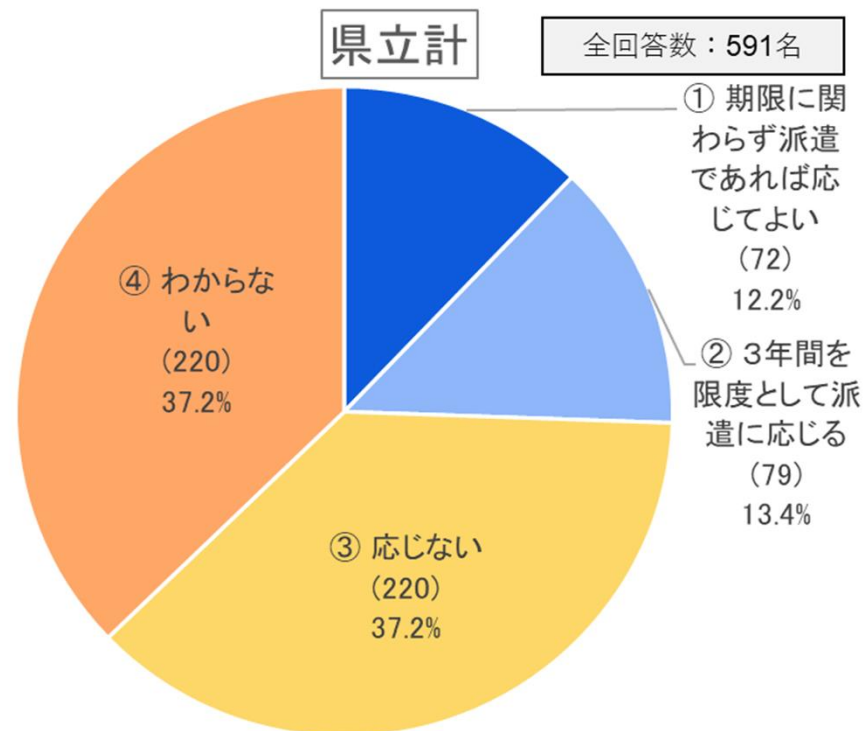
➤ 北部医療センターへの派遣

- 県立病院全体で北部医療センターへの勤務を希望しない・わからないと回答した医療従事者591名（正職員のみ）のうち、期限にかかわらず応じるとした人は72名、3年を限度として派遣に応じるとした人79名の合計151名いた。
- わからないと回答した方と応じないと回答した方でそれぞれ220名であった。

勤務を希望するか（県立病院のみ）

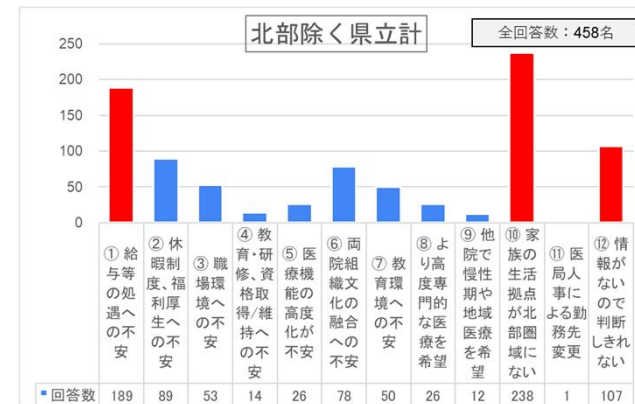
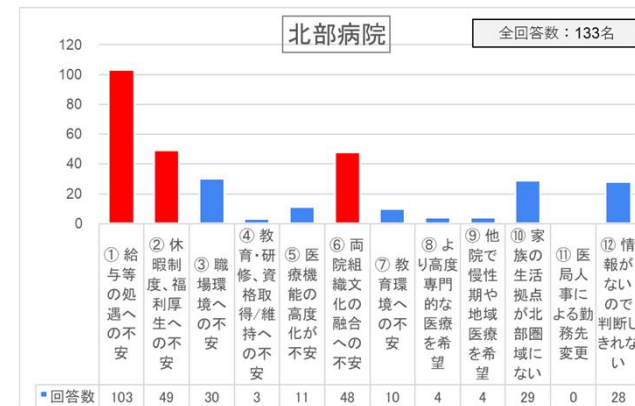
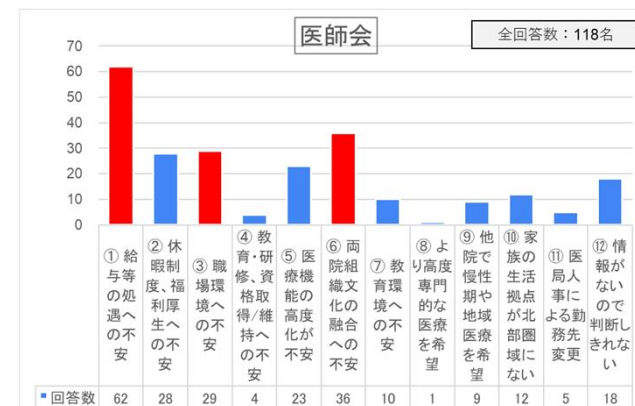
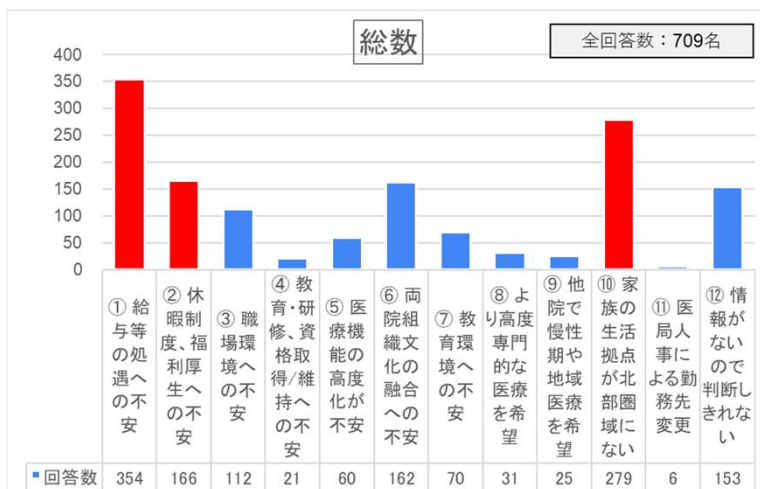


派遣に応じるか



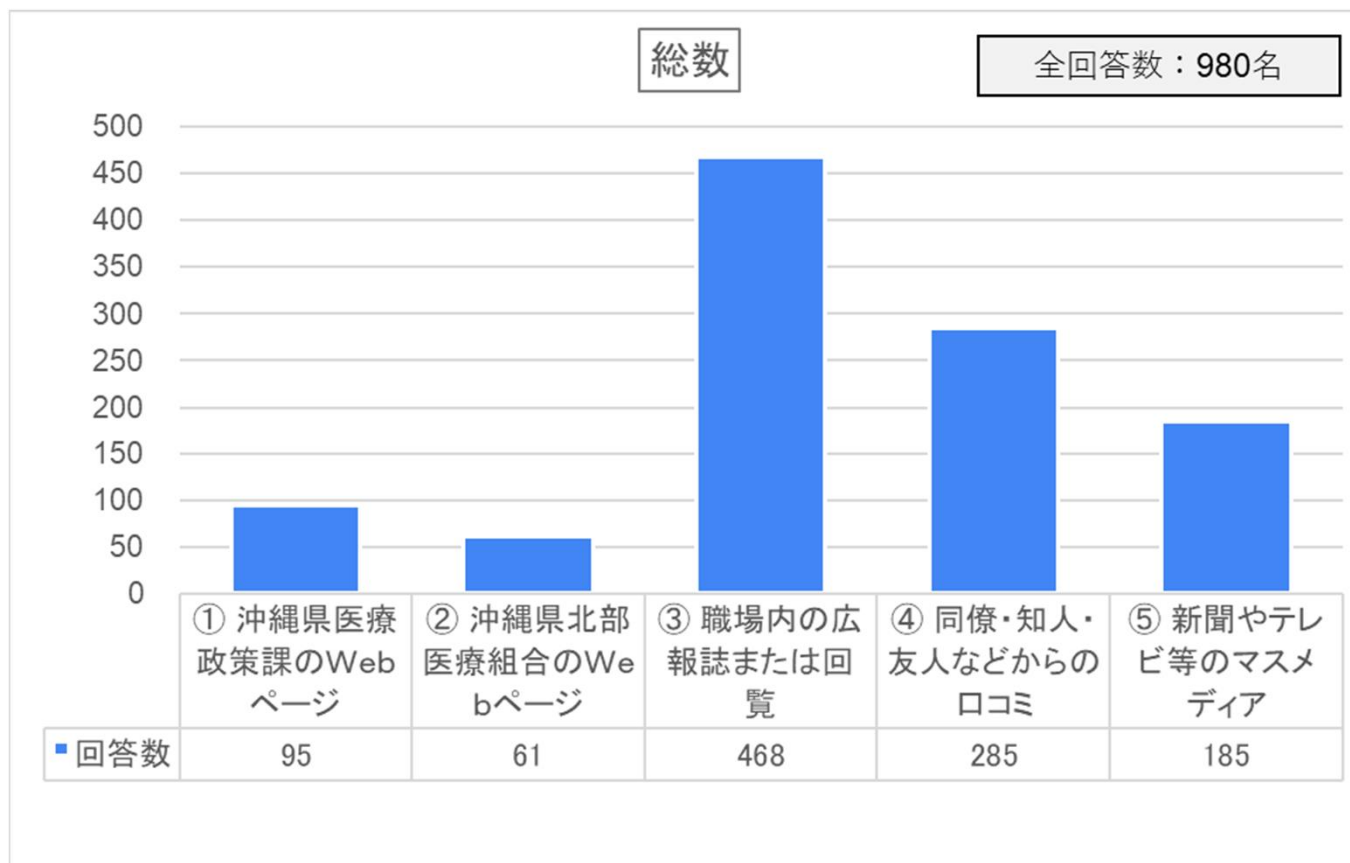
➤ 希望しない理由について

- 北部医療センターへの勤務に応じない・わからないと回答した人709名を対象にその理由を尋ねた。
- 最も多かった理由としては、354名が選択した「給与等の処遇への不安」であった。2番目は「生活拠点が北部圏域にない」こと。3番目は、「休暇制度等への不安」である。
- 病院別で見ると、医師会病院と北部病院ともに「給与等への不安」を理由に挙げる方が多い。また、両病院共通で「組織文化の融合に対する不安」を挙げている方も多い。
- 北部以外の県立で最も多かった理由は、238名が選択した「生活拠点が北部圏域にない」ことである。2番目は「給与等への不安」である。また、「情報がないたため判断できない」という理由も3番目に多かった。



➤ 情報ツールについて

- 県立病院、北部地区医師会病院の職員へ北部医療センター関連の情報をどこから得ているのか尋ねたところ、最も多かったのは病院内ネットワークや広報誌または回覧などであった。その次に同僚や友人等からの口コミ、新聞やテレビ等のマスメディアからの情報が続く。



➤ まとめ

(1) 総括

- ① 北部医療センターが医療従事者から選ばれるためには、ワークライフバランスが重要であることが改めてわかった。また、北部地域外に生活圏がある医療従事者を北部医療センターへ呼び込むためには、職員駐車場の確保をはじめ、住居手当や遠距離通勤者への支援に対する需要が高いことが今回の調査で判明した。
- ② 北部医療センターへの勤務を希望する方は187名いた。北部医療センターへの派遣に応じられる医療従事者は3年間を限度として応じる方と期限にかかわらず応じる方を合わせると151名おり、開院時に北部医療センターで勤務してくれると見込める医療従事者は338名いることがわかった。
- ③ 北部医療センターへの勤務を希望しない・わからないと回答した方が挙げるその理由については、給与等の処遇への不安が最も多かった。前年度の調査においても給与等への処遇への不安が最も多かった。
- ④ 北部医療センター整備に深く関わる県立北部病院と医師会病院においては、統合に伴う両病院の組織文化の融合、専門性の発揮や勤務時間など職場環境への不安も目立った。一方で、北部病院以外の県立病院においては、生活拠点が北部地域にないことや北部医療センターに関する情報がないので判断しきれないという理由で北部医療センターへの勤務を希望しない若しくは派遣に応じないと回答した方が多くいた。

(2) 課題及び今後の方向性

- ① ワークライフバランスのとれた病院を目指し、医療従事者の確保につなげていく必要がある。
- ② また、医療従事者を確保するためには、生活圏が北部地域にはない者も採用していく必要が出てくると思われる。そのためにも、住居手当や通勤手当、その他福利厚生制度等について、労働条件を検討する上では可能な限り配慮することが重要になるのではないか。
- ③ 今回の調査では、回答者から給与等の労働条件を明示する声もあったことから、引き続き財団法人部会で具体的な勤務条件の検討をしていく必要がある。